



第五管区海上保安本部  
平成 27 年 12 月 24 日

## 平成 27 年 五管重大ニュースについて

平成 27 年の第五管区海上保安本部における出来事について、職員を中心としてアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ、別添のとおり「平成 27 年五管重大ニュース」を取りまとめました。

### 【平成 27 年 五管重大ニュース(タイトル)】

- バージ船保有会社と災害時の燃料供給協定を締結
- 救魂！機動救難士発足 10 周年 100 件 300 名救助！
- 姫路港沖タンカー爆発炎上事故から1年
- 日本トルコ友好 125 周年記念事業
- 鳴門海峡で AIS 搭載船舶無事故 1000 日達成
- 南海トラフ巨大地震の想定震源域で、海底の詳細な動きを初めて捉える
- 大阪港でわいせつ物密売人を初摘発！
- 巡視船せつつ搭載機が就役
- バーチャル AIS 航路標識の運用開始
- 「友が島灯台」が有形文化財として登録

平成27年 五管重大ニュース

月	画像	タイトル	概要
1月		バージ船保有会社と災害時の燃料供給協定を締結	1月9日、第五管区海上保安本部は、災害時の巡視船艇への燃料供給体制を強化するため、神戸、大阪両市においてバージ船を保有する石油会社3社と協定を締結した。この種協定の締結は当庁で初めて。
4月		救魂!!機動救難士発足10周年100件300名救助!	4月、関西空港海上保安航空基地の機動救難士発足10周年を迎えた。機動救難士の出動実績は基地発足から平成27年3月までに救助件数100件、救助人数300名を数えている。
5月		姫路港沖タンカー爆発炎上事故から1年	5月、姫路港沖で発生した原油タンカー爆発炎上事故から1年が経過したタイミングを捉え、事故を風化させず、事故防止の意識を高めるため、関係事業者等と連携した訓練等を実施した。また、12月16日、同事故について船長と一等航海士を業務上過失致死傷の疑いで神戸地方検察庁姫路支部に送致した。
6月		日本トルコ友好125周年記念事業	6月2日～4日、和歌山県串本沖で発生したトルコ軍艦エルトゥールル号遭難事故から125年目を迎えるにあたり開催された日本トルコ友好125周年記念事業に協力した。式典等には、三笠宮彬子女王殿下、トルコ大国民議会議長ほか多数の来賓の出席があったほか、トルコ軍艦も寄港して盛大に行われた。
6月		鳴門海峡でAIS搭載船舶無事故1000日達成	鳴門海峡では、大阪湾海上交通センターにより平成24年9月11日からAIS（船舶自動識別装置）搭載船舶に対し、潮流情報等の提供及び安全運航確認を開始して以来3年間の長期にわたり、無事故を継続している。
8月		南海トラフ巨大地震の想定震源域で、海底の詳細な動きを初めて捉える	海上保安庁は、海溝型巨大地震の想定震源域において、プレート境界の固着状態を把握するため、海底の動きを長期にわたって観測。今回、平成27年6月までの4年間に蓄積したデータを解析した結果、南海トラフ巨大地震の想定震源域における、東北地方太平洋沖地震後の移動速度（概ね北西方向に最大で約6cm/年）を捉えることに初めて成功した。
8月		大阪港でわいせつ物密売人を初摘発!	足かけ約2年にわたる捜査により、大阪港に入港した貨物船船員に対してわいせつDVDを密売していた男1名を割り出し、8月に逮捕したもので、この種事案の摘発は当庁で初めて。
9月		巡視船せつつ搭載機が就役	9月29日、巡視船せつつの搭載機として、新型のシコルスキー式S76D「しらさぎ」が就役した。就役にあわせ、愛称公募、就役式等を実施した。
11月		バーチャルAIS航路標識の運用開始	11月1日、船舶交通の安全確保を図るための新たな取り組みとして我が国で初めて、船舶自動識別装置（AIS）を活用し、航海用レーダー画面上にシンボルマークを仮想表示させる、「バーチャルAIS航路標識」の正式運用を明石海峡及び友ヶ島水道で開始した。
11月		「友ヶ島灯台」が有形文化財として登録	「友ヶ島灯台」が、文化財保護法に基づく有形文化財として11月17日付けで登録原簿に登録された。五管では初の登録。